

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【南部振興局】</p> <p>地域振興事業費</p>	<p>9,121 (36,711)</p> <p>－ 9,121</p>	<p>1 こなんベンチャーシティ推進事業 5,700 湖南地域は、大学、公的研究所およびインキュベーション施設が立地し、また交通インフラが充実している。このような地域の強みを活かして、創業や経営革新が活発に行われる「こなんベンチャーシティ」と呼べる地域の実現のため事業展開する。</p> <p>2 甲賀地域障害者自立支援 1,421 「こうか・こなん あいねっと」モデル事業</p> <p>障害者の自立についてIT技術を活用した更なる重層的な支援を図るため、甲賀保健福祉圏における「障害者・家族等を対象としたWebサイト」の運営および「甲賀地域障害児・者サービス調整会議（甲賀地域障害者自立支援協議会）の構成機関・関係機関等を結ぶ情報通信ネットワーク」の運用を行うとともに、成果を検証し、平成21年度以降の運営主体や費用負担等について検討する。</p> <p>3 猿害総合対策モデル事業 2,000</p> <p>甲賀地域で被害の著しいニホンザルの群れ（甲賀A群）（信楽A群）について、行動域と行動特性および追い払いに対する反応を電波発信機を活用し調査するとともに、関係集落における被害状況調査や被害防除対策の推進など住民の主体的な対策の実践を支援する。</p>
<p>【東近江地域振興局】</p> <p>地域振興事業費</p>	<p>2,130 (12,714)</p> <p>－ 2,130</p>	<p>1 あったかふれあいタウンネットワークづくり事業 240</p> <p>認知症を地域で支える核となる「認知症サポーター（認知症研修終了者）」を養成するため、その講師役である「認知症キャラバンメイト」の育成支援を図る。</p> <p>また、市町から推薦のあった「認知症サポーター」に対して、認知症に優しいまちづくりリーダーとしての養成研修を市町と協働で行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>2 獣害のない元気な里づくり推進事業 1,890</p> <p>野生獣による農作物被害対策として、フェンスやネット、電気柵など侵入防止対策がとられてきたが、単独の事業だけではその効果が低いため、人と野生獣の棲み分けの観点から追い払いや牛、羊の放牧などのソフト対策とあわせて、里山を整備して緩衝地帯を設けるなどのハード整備をモデル事業として実施し、獣害被害の軽減を図り、また多様なケースでの成果を今後の対策に活用する。</p>
<p>【湖東地域振興局】</p> <p>地域振興事業費</p>	<p>7,419 (10,369)</p> <p>－ 7,419</p>	<p>1 河川・道路管理におけるゼロエミッション計画 2,283 「竹等のチップ化」実験事業</p> <p>地域住民、NPOおよびボランティア等と協働し、河川敷や堤防に繁茂する竹林等の継続的な整備についての仕組みづくりを図る。また同時に、伐採竹木等をチップ化し、マルチング材として道路植樹帯や道路法面、河川堤防などの防草対策に利用するゼロエミッション計画の構築に向けて実証実験を実施する。</p> <p>2 宇曽川水系集団的水利用体制整備支援事業 5,136</p> <p>宇曽川水系の農業濁水を改善するため、農業者等と連携のもと宇曽川の上・中流域において、田植え時に落水しない取り組みや濁水を防ぐための営農技術の実証・実践を進めてきた。</p> <p>このことにより水質は一定改善されたものの、今後においても一層の水質改善を図る必要があることから、さらに高度な濁水防止対策を広範囲で実践していくことが重要となる。このため、流域の集落において集団的水利用に取り組むための体制づくりを支援する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【湖北地域振興局】</p> <p>地域振興事業費</p>	<p>2,541 (13,608)</p> <p>— 2,541</p>	<p>1 湖北地域振興関連情報発信事業 800</p> <p>湖北地域は平成17年度国勢調査において1市5町の人口が減少し本県の人口減少率が大きい市町の1位から4位までを占めており、また、高齢化率の高い地域が多く、人口の減少と高齢化が大きな課題となっている。</p> <p>こうした状況の下、実現した琵琶湖環状線の開業をチャンスとして生かし、湖北地域の均衡ある発展に繋げるため「湖北地域」の潜在的な魅力と可能性を広く発信し、企業誘致、観光振興による雇用の場づくりや若者等のUターンの促進を図る。</p> <p>2 湖北の新しい特産物づくり事業 841</p> <p>湖北地域の農業は稲作に特化して農産物の特産品は少ないため、観光客等のニーズに応えられていない。また、米価の低下などが農業経営にも影響を及ぼしている。</p> <p>このため、水稻の農閑期に遊休ハウスや温室を活用し、他の地域では取組のない新しい園芸品目をプランター栽培等の新技術で取組み、担い手農業者など地域に普及させることにより「湖北を代表する魅力ある特産物」の育成、定着を図りブランド化をめざす。</p> <p>3 湖北ふるさと体験企画モデル事業 900</p> <p>農村地域は子どもたちが都会へ出て行き、高齢化・過疎化の進行により集落機能が低下し、活力を失いつつある。</p> <p>しかし、都市住民と農山村のじいちゃん・ばあちゃんとの交流を機会に、第二のふるさととして家族ぐるみのふれあいに発展し、農山村の元気回復に資している事例があることから、こうした民間のノウハウを活用し、都市住民と農山村住民の交流の促進と農山村活力の再生を図る。</p>